

平成25年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 日本フェンオール株式会社

コード番号 6870 URL <http://www.fenwal.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 井口 雅雄

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理統括部長

(氏名) 高田 忠夫

TEL 03-3237-3561

四半期報告書提出予定日 平成25年11月6日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年12月期第3四半期の連結業績(平成25年1月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第3四半期	13,690	10.3	996	22.6	1,037	9.2	687	20.3
24年12月期第3四半期	12,409	11.5	813	37.0	949	82.4	571	417.2

(注) 包括利益 25年12月期第3四半期 913百万円 (60.8%) 24年12月期第3四半期 568百万円 (290.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第3四半期	116.71	—
24年12月期第3四半期	96.99	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年12月期第3四半期	14,457	7,013	48.5	1,190.12
24年12月期	12,875	6,311	49.0	1,071.07

(参考) 自己資本 25年12月期第3四半期 7,013百万円 24年12月期 6,311百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	—	0.00	—	36.00	36.00
25年12月期	—	0.00	—	—	—
25年12月期(予想)	—	—	—	27.00	27.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 24年12月期期末配当金には、特別配当9円が含まれております。

3. 平成25年12月期の連結業績予想(平成25年1月1日～平成25年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,406	11.8	1,182	20.9	1,253	1.9	782	0.4	132.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、[添付資料]P.3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年12月期3Q	5,893,000 株	24年12月期	5,893,000 株
② 期末自己株式数	25年12月期3Q	237 株	24年12月期	237 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年12月期3Q	5,892,763 株	24年12月期3Q	5,892,835 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料]P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、大規模な金融緩和政策や経済政策を背景に円安基調、株高で推移したほか、企業収益が改善するなど緩やかに回復しつつあるものの、原材料価格が上昇傾向にあるほか、来年4月に消費税増税を控え経済成長の持続性に対する懸念もあり、依然として不透明な状況で推移いたしました。

このような事業環境の下、当社グループにおきましては、差別化された高付加価値製品の開発に注力し、市場競争力を高めてまいりました。生産拠点である長野工場におきましては、生産性の向上を目的とした教育訓練、工程改善活動、原価低減活動に積極的に取り組んだ他、プリント基板実装設備の一部をリニューアルいたしました。

以上の結果、受注高は15,243百万円(前年同四半期比26.1%増)、売上高は13,690百万円(前年同四半期比10.3%増)となりました。

利益面におきましては、円安の影響等により海外子会社の売上総利益が増加したことなどにより、営業利益は996百万円(前年同四半期比22.6%増)となりました。経常利益につきましては、営業利益が増加したほか、為替予約の実施等により41百万円の為替差益が発生し1,037百万円(前年同四半期比9.2%増)、四半期純利益につきましては、687百万円(前年同四半期比20.3%増)となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

SSP (Safety Security Protection) 部門

防災設備業界におきましては政府による金融緩和をはじめとする様々な経済対策による景気押し上げ効果等により、公共投資や民間設備投資は底堅く推移したものの、受注競争が更に激化するなど厳しい環境が続きました。

このような環境の下、得意分野であるガス消火設備や特殊防災設備を中心に積極的な営業展開を行ってまいりました。これらにより、電力等基幹産業分野の引き合いが増加するなど受注高は堅調に推移したものの、売上高の回復までには至りませんでした。

以上の結果、受注高は4,685百万円(前年同四半期比55.2%増)、売上高は3,312百万円(前年同四半期比3.1%減)となりました。

サーマル部門

当該部門の主要取引先である半導体業界はスマートフォンの需要が好調であるほか、半導体製造装置の需要も回復基調にあり、一時期の低迷から脱する状況となりました。しかしながら、当社製品の売上高増加に結びつくまでには至らず、主力製品であるセンサー等の出荷も減少いたしました。

以上の結果、受注高は914百万円(前年同四半期比3.1%減)、売上高は838百万円(前年同四半期比10.8%減)となりました。

メディカル部門

当該部門の主力製品である海外向け人工腎臓透析装置は、円安の影響及び市場流通在庫が減少したこと等により販売元から代理店へのお荷数量が増加し、当社からの出荷も増加いたしました。

以上の結果、受注高は1,472百万円(前年同四半期比13.1%増)、売上高は1,356百万円(前年同四半期比8.8%増)となりました。

PWBA部門 (Printed Wiring Board Assembly) 部門

プリント基板の実装と組立てが主体の当該部門におきましては、主要顧客である事務機器関連業界を中心とした中国市場の需要が増加したほか、当第3四半期連結累計期間は前第3四半期連結累計期間と比較し円安傾向であったこと等により、当社の海外子会社である日本芬翁(香港)有限公司の売上高が増加いたしました。一方、主力製品を海外生産に切り替えた影響等により、国内売上高は減少いたしました。

以上の結果、受注高は8,170百万円(前年同四半期比19.8%増)、売上高は8,182百万円(前年同四半期比20.3%増)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、14,457百万円となり、前連結会計年度末12,875百万円に比べ1,581百万円(12.3%)増加しております。主な増加要因は「受取手形及び売掛金」の増加1,074百万円(32.6%)、「投資有価証券」の増加400百万円(48.6%)によるものであります。

負債総額は、7,444百万円となり、前連結会計年度末6,564百万円に比べ879百万円(13.4%)増加しております。主な増加要因は、「支払手形及び買掛金」の増加799百万円(27.8%)、「短期借入金」の増加624百万円(55.1%)によるものであり、主な減少要因は「未払法人税等」の減少301百万円(73.7%)によるものであります。

純資産合計は、7,013百万円となり、前連結会計年度末6,311百万円に比べ701百万円(11.1%)増加しております。主な増加要因は四半期純利益687百万円であり、主な減少要因は配当金の支払212百万円であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当期の経営環境につきましては、政府による民間投資を喚起する対策等を背景に、企業収益は改善傾向にあるものの、消費税増税を控えていること等により景気の先行き不透明感は続いております。また、第3四半期時点における売上高が前期比減少となっている部門もあることから、今後においても厳しい環境が続くものと予想されます。

これらを勘案した結果、平成25年5月1日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成25年1月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、この変更による当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,794,321	3,996,647
受取手形及び売掛金	3,296,451	4,371,440
電子記録債権	98,030	72,600
完成工事未収入金	482,368	454,317
有価証券	199,649	—
製品	424,084	323,329
仕掛品	299,271	371,419
原材料	1,463,721	1,682,840
未成工事支出金	646,425	683,189
その他	85,069	69,341
貸倒引当金	△9,987	△11,574
流動資産合計	10,779,407	12,013,552
固定資産		
有形固定資産	888,010	894,168
無形固定資産	75,102	73,572
投資その他の資産		
投資有価証券	823,925	1,223,958
その他	376,433	280,151
貸倒引当金	△66,939	△28,173
投資その他の資産合計	1,133,419	1,475,936
固定資産合計	2,096,531	2,443,677
資産合計	12,875,939	14,457,230
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,872,439	3,672,060
工事未払金	350,245	347,038
短期借入金	1,132,900	1,757,175
1年内返済予定の長期借入金	66,666	66,666
1年内償還予定の社債	165,000	118,500
未払法人税等	408,695	107,687
賞与引当金	—	125,335
役員賞与引当金	—	16,500
工事損失引当金	—	2,956
その他	659,359	476,774
流動負債合計	5,655,305	6,690,694
固定負債		
社債	286,500	168,000
長期借入金	66,668	33,335
役員退職慰労引当金	73,338	63,866
退職給付引当金	445,763	436,005
資産除去債務	22,636	22,636
その他	14,159	29,589
固定負債合計	909,065	753,433
負債合計	6,564,370	7,444,127

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	996,600	996,600
資本剰余金	1,460,517	1,460,517
利益剰余金	3,728,558	4,204,191
自己株式	△145	△145
株主資本合計	6,185,530	6,661,163
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	113,095	248,920
為替換算調整勘定	12,942	103,019
その他の包括利益累計額合計	126,038	351,939
純資産合計	6,311,568	7,013,103
負債純資産合計	12,875,939	14,457,230

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)
売上高	12,409,340	13,690,091
売上原価	10,077,447	11,224,005
売上総利益	2,331,892	2,466,085
販売費及び一般管理費	1,518,854	1,469,476
営業利益	813,038	996,608
営業外収益		
受取利息	7,827	2,894
受取配当金	16,060	17,484
為替差益	24,148	41,536
製造販売権譲渡益	100,000	—
その他	13,968	2,905
営業外収益合計	162,005	64,821
営業外費用		
支払利息	18,081	16,791
社債発行費	6,558	—
保険解約損	—	6,238
貸倒引当金繰入額	15	0
その他	993	1,369
営業外費用合計	25,649	24,399
経常利益	949,393	1,037,030
特別利益		
固定資産売却益	810	—
投資有価証券売却益	—	29,392
特別利益合計	810	29,392
特別損失		
固定資産除却損	5	—
ゴルフ会員権売却損	—	190
特別損失合計	5	190
税金等調整前四半期純利益	950,198	1,066,232
法人税、住民税及び事業税	397,537	342,228
法人税等調整額	△18,884	36,231
法人税等合計	378,653	378,459
少数株主損益調整前四半期純利益	571,545	687,772
四半期純利益	571,545	687,772

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	571,545	687,772
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,152	135,824
為替換算調整勘定	△5,534	90,076
その他の包括利益合計	△3,381	225,901
四半期包括利益	568,163	913,673
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	568,163	913,673

(3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年1月1日至平成24年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	S S P 部門	サーマル 部門	メディカル 部門	P W B A 部門	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	3,418,733	940,687	1,246,771	6,803,147	12,409,340	—	12,409,340
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	3,418,733	940,687	1,246,771	6,803,147	12,409,340	—	12,409,340
セグメント利益	517,686	115,821	119,949	435,139	1,188,597	△375,558	813,038

(注) 1 セグメント利益の調整額△375,558千円は、全社費用であり、報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年1月1日至平成25年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	S S P 部門	サーマル 部門	メディカル 部門	P W B A 部門	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	3,312,525	838,944	1,356,370	8,182,250	13,690,091	—	13,690,091
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	3,312,525	838,944	1,356,370	8,182,250	13,690,091	—	13,690,091
セグメント利益	535,228	124,857	143,112	546,775	1,349,973	△353,364	996,608

(注) 1 セグメント利益の調整額△353,364千円は、全社費用であり、報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。